

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成24年11月8日 第66号
浜田市農林業支援センター

はじめに

平成25年産に向けた、水稻の需給調整システム検討会議が行われました。そのことを受け、今後は本年度の作付け実績数値等に基づいた生産数量目標の配分が島根県から示されます。浜田市農林業支援センターでは浜田市農業再生協議会を主体として、農家の方々の作付け希望面積の取りまとめ等を行った後、自治区毎に説明会を実施する予定としていますので、ご理解とご協力をお願いします。

(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: ^{いなだ} 稲田・^{なかた} 中田)

ACスマイルが元気をお届け!



11月3～4日、ふれいあいジム金城で開催された金城さざんか祭りにおいて、**金城農業青年クラブ（通称ACスマイル）**が出店されました。

今年はピオーネジャムと苗物の販売、餅つきの実演販売が行われました。餅つきでは、ACスマイル会員の力強い姿に来場者は注目し、出来上がったお餅は即完売となりました。

当日は風の冷たさは感じたものの好天に恵まれ、心地よい秋のひとつとなりました。

農業を通じて地域を元気にするACスマイルの活動を、今後も当支援センターは応援していきます。



● 認定農業者支援チーム (担当: ^{なかた} 中田・^{いなだ} 稲田)

原木乾しいたけ基礎研修会が開催されました



10月18日、金城町のみどり会館において、主にしいたけ栽培を新たに始められたい方を対象とした、原木乾しいたけの基礎研修会が開催され、旭町の認定農業者 **岩地正男さん**が講師として、「**しいたけ栽培と私について**」と題して講演をされました。講演では、苦労話とともに、経験で培われた数々の技法を紹介され、また、しいたけ栽培は常に3～5年先の計画目標を持って取り組むことが大事であることを強調され、参加された方々は熱心に話を聞いておられました。

岩地さんは、昭和57年からしいたけ栽培を始められ、島根県の乾椎茸品評会において、最高賞である島根県知事賞を受賞されるなど、島根県を代表するしいたけ生産者として、今後ますます期待されます。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: ^{たばら} 田原・^{かまはら} 鎌原)

集落営農の先進地視察



10月23・24日に、**いわみ中央集落営農組織連絡協議会**の総会・視察研修会が開催されました。

最初に訪問した出雲市の**未来サポートさだ**は、佐田町の集落営農16組織中8組織によって今年4月に設立された組織であり、組織間の稲WCSの転作協業やオペレーターの育成に取り組んでおられます。

次に訪問した松江市の**古志ファーム**では、組織の取組みについて説明を受けるとともに、玄丹そば・津田かぶの圃場、ミニトマトのトロ箱栽培システム等を見学しました。

この2日間では活発な意見交換が行われ、浜田の農地維持にとって大事なことは何か、今後どのような取組みを行いたいかなど、

貴重な意見を交わすことができ、有意義な総会・視察となりました。

2. 「ミクニマルシェ」に認定されました！

浜田市が誇る農林水産物の特産品の更なるレベルアップと販路拡大を目的に、**はまだ食の大使『三國清三』シェフ**が推奨する食材・食品を「**ミクニマルシェ**」に認定する審査会が、10月14日に行われました。



ミクニマルシェ認定品

- ケンボロー芙蓉ポーク（ロース、バラ等）、
ベーコン、ロース味噌漬 【(有)島根ポーク ケンボロー】
- どんちっちアジ、どんちっちカレー、どんちっちノドグロ 【浜田水産物ブランド化戦略会議】
- ゆきこの瞳（ブルーベリー飲料） 【阿郷建設(有)】
- まあちゃんの原木ほししいたけ 【岩地正男】
- 赤てん 【(有)江木蒲鉾店】
- ピオーネセミドライ、ベリーネいちごアイス・ピオーネアイス 【(有)KKN】
- 飲むピオーネ酢 【いわみ中央農業協同組合】
- やさか漬 【JA女性部弥栄】
- まるごとぜ〜んぶ食べるお茶 煎茶 【(株)扇原茶園】
- どぶろく「弥盛」 【ふるさと弥栄振興公社（体験村）】
- カット干しトマト、カット干し梨（旭乃美）、柿ペースト 【(株)森本商会】
- あんぼたん漬 【和田アミエ】

今後は浜田駅の市民サロンにミクニマルシェコーナーを常設するほか、東京、大阪の高級スーパーにおいてミクニマルシェのイベント等を開催し、PRしていきます。

3. 「田んぼアート」今年も完成！



本誌第61号（平成24年6月号）でお伝えしております、**金城町の認定農業者 藤若将浩さん**が主催する「田んぼアート」が収穫の時期を迎え、干支にちなんだ龍の模様が見事に浮かび上がりました。10月に稲刈り体験・釜と薪を使った炊飯体験がそれぞれ行われ、参加した子どもたちは、自分の胸の高さほどの稲と格闘しながら楽し

く働いていました。

12月には、収穫した稲わらを使ったしめ縄づくりが計画されています。今年も最後まで楽しいイベントになりそうです。



4. 「森づくりは海づくり」植樹を行いました。

10月13日、浜田市久代町にあるアクアス周辺において「**2012 森づくりは海づくり in 浜田**」が開催されました。これは、森林が有する環境保全機能に触れ、森林を守ることが海洋環境の保全に繋がることを体験する事業として、浜田市内持ち回りで実施されています。



今回は、抵抗性マツ200本と広葉樹300本を植樹し、また漁業体験では会場を浜辺に移してヒラメのつかみ取りが行われました。植樹会場は砂地であり、参加者は足元に気をつけながらも一つ一つ丁寧に作業し、早く根付き、立派な森になるよう思いを込めて植樹されていました。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様に配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp